



新年のご挨拶



群馬県中小企業団体中央会

会長 金子正元

平成30年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日本経済は緩やかな回復基調が長期間続いているとされておりますが、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、人手不足の深刻化とそれに伴う人件費等のコスト増加を要因として、益々厳しさが見られます。

社会・経済環境が大きく変化する中において、本会会員である中小企業組合は、共同事業による生産性向上・取引交渉力の強化、人材の確保・育成を図ることはもちろん、魅力あるまちづくりの推進や自治体等との災害時救援協定締結等、地域社会への貢献活動にも積極的に取

組み、その果たすべき機能を十二分に発揮しています。

群馬県においては、群馬県総合計画等に基づいた施策が着実に実行され、産業の活性化、雇用創出が期待されているところであります。このような中、群馬の未来を担う子どもたちが社会に出て大きくはばたけるよう、家庭・教育環境等の整備充実を産業界からもお願い申し上げます。

本会では、本年も中小企業組合、中小企業・小規模事業者の課題解決のため、引き続き「ものづくり補助金」、「中小企業等経営強化法」等の生産性向上に向けた諸施策に係る支援をはじめ

め、経営者の高齢化や後継者難に対し、円滑な事業承継が行われるよう取組んで参ります。

さらに、新たな法制度に基づく外国人技能実習の適正な運営支援等、引き続き県当局の支援を賜りながら諸事業を推進し、県内事業者が景気回復を実感し成長・発展でき、群馬県経済の活性化に寄与できるよう努める所存です。

結びに、本年が皆様にとりまして、大いなる飛躍の年となりますよう祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

平成30年元旦





新年のご挨拶

群馬県知事

大澤 正明

明けましておめでとございます。

群馬県中小企業団体中央会の皆さまには、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、1300年の長きにわたり守り続けられた「上野三碑」がユネスコ「世界の記憶」に登録され、県内は大きな喜びにわきました。

ハツ場ダムの堤体工事も本格化し、31年度の完成に向けて着実に工事が進められています。地元の方々が安心して暮らせるよう、生活再建事業にしっかりと取り組みます。

また念願であった国道17号上武道路が全線開通したことにより、群馬が誇る交通の優位性がさらに高まりました。

さて、最近の県内経済は、好調な自動車関連産業に牽引され、回復基調が続いております。その一方で、世界経済の先行き不透明感や原材料価格

の上昇、人手不足により人材確保が困難となるなど、厳しい経営環境におかれている中小企業も少なくありません。

また、喫緊の課題となっている人口減少問題に対応するため、Uターンなどによる移住定住を促進し、特に若者の定住を促すことが重要となっております。

人口減少社会にあっても県民一人一人が幸せを実感でき、将来にわたって住み続けたいとなるよう、総合計画に掲げた3つの基本目標「人づくり」「安全で安心でできる暮らしづくり」「産業活力の向上・社会基盤づくり」の実現に向けて、今年もさまざまな施策を推進してまいります。

JR高崎駅東口に計画しているコンベンション施設がいよいよ着工となります。若者や女性の新たな雇用の場や「人・モノ・情報」を呼び込む拠点として大いに活用し、交流人口の増加による経済の活性化につなげます。

群馬ならではの観光資源を活用した観光誘客にも取り組めます。群馬と新潟、長野の県境にある100キロにもおよぶ稜線を日本最長となる「ぐんま県境稜線トレイル」として整備し、温泉地と結びつけながら新たな魅力を発信します。

本県には豊かな自然や温泉、世界遺産「富岡製

明けましておめでとございます。

平成30年の新春を迎え、年頭に当たりまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も全国各地で自然災害が多発しました。被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

我が国経済は、これまでのアベノミクスの効果により経済の好循環が確実に回りはじめ、景気回

糸場と絹産業遺産群」や世界の記憶「上野三碑」などの誇るべき歴史文化遺産、高度なものづくり技術など、先人が残してくれた多くの宝物があります。

これらの優れた資源と限りない可能性を生かし、県民の皆さまにふるさと群馬への誇りと愛着をさらに深めていただけるよう「魅力あふれる群馬」の実現に向け、全庁一丸となって取り組んでまいります。

本県が将来にわたって発展していくためには、地域経済を支える中小企業に元気に活躍していただくことが不可欠です。中央会の皆さまには、日頃の相談業務、講習会や合同企業説明会の開催を通して、中小企業の御支援に御尽力いただいております。県としても、皆さまと力を合わせ、中小企業の活力が最大限に発揮されるよう全力で取り組んでまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、この一年が皆さまにとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

平成30年1月1日

復興基調にあると言われていますが、地域や業種、事業者の規模によって景況感のばらつきがあり、中小企業・小規模事業者の多くはその実感を得られておりません。加えて、深刻化する人手不足や後継者難、地域の疲弊、頻発する自然災害など、厳しい事業環境にあり、その対応に苦慮しております。



全国中小企業団体中央会

会長 大村 功作

新年のご挨拶



このような状況の中で、地域の経済・雇用を支える我々中小企業・小規模事業者は、経営基盤を強化し持続的な成長に向けて、更なる生産性の向上が求められています。そのためには個々の努力とともに、連携・組織化による取組みが一層肝要であると考えます。

こうした中、昨年10月26日に長野県松本市で開催しました第69回中小企業団体全国大会には、全国各地から中小企業団体の関係者2,500名が参集し、「団結は力 見せよう組合の底力!」地方創生は連携による地域力アップと強力な発信」

新年のご挨拶



株式会社商工組合中央金庫
前橋支店

支店長 櫻井 浩嗣

平成30年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、当金庫の危機対応業務の不正行為事案に関しまして、お取引先や株主の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

現在、中小企業の景況感は持ち直しの動きがみられますが、非製造業を中心に人手不足感は強まっております。コスト上昇への懸念が高まっております。また、将来的には人口減少時代の本格到来やグローバル化の一層の進展が見込まれ、中小企業

をスローガンに、約27,000の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取組むことを決議しました。

全国中小企業団体中央会としては、中小企業組合等連携組織の専門支援機関として、組合等の連携組織が持つている企業同士の「つながる力」を大いに発揮し、1・T利活用、人手不足と事業承継を見据えた人材育成などをはじめとする積極的かつ多面的な支援により、我が国経済及び中小企業・小規模事業者の持続的な成長に寄与すべく活動を展開してまいります。特に、経営力強化・生

の経営ニーズは、一層高度化・多様化することが考えられます。

こうした環境において、業績や資金繰りに影響が生じている中小企業の皆さまからのご相談に対しては、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取組んでまいります。

成長支援については、生産性向上を目的とした設備投資、集約化等の事業再構築、人手不足への対応等に関するニーズが見込まれる中、「適時適切な成長資金の供給」、「地域金融機関と連携したリスクマネーの供給」、「海外展開支援」、「M&Aや事業承継支援」、「ビジネスマッチング」等への取組みにより、中小企業の皆さまの多様なニーズへの対応を強化してまいります。

さらに、再生支援については、地域金融機関や各支援機関との連携により、経営改善計画の策定支援やそのフォロー、抜本的な再生支援、金融取引の正常化支援等に取り組んでまいります。

産性向上、事業承継、働き方改革、消費増税、災害復旧・復興などの重要テーマにつきましては、皆様のより一層のご支援ご協力を賜りながら適切に対応してまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が中小企業組合と中小企業・小規模事業者の皆様にとつて、更なる飛躍の一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成30年元旦

これら取組みに加え、真にお客様本位の業務運営を徹底するために抜本的な業務改革を実施し、当金庫の使命である中小企業と中小企業組合の持続的成長とそれを通じた地域経済の活性化に貢献してまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、再び皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

